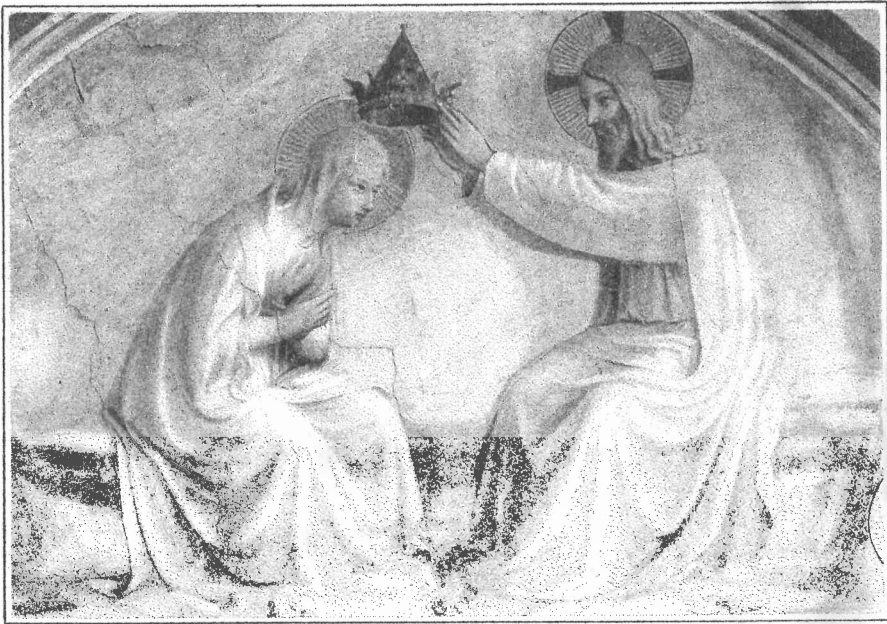


カルメル霊性センター（月刊）

2000（平成12）10月号

2000. 10. 霊性センターニュース 148号



霊性センターカルメル

詩

断想（152）意見文「信仰」

ヘンリ・ナーウェンの「旅路の糧」（26）

みことばのひびき

フォコラーレニュースより

大聖年の祈り

諸所の企画についてのご紹介

短歌

お願い

〒611 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
浄土宗 蓮華院（黙想）
TEL 0774-32-7016
FAX 0774-32-7457

霊性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

(1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(2000年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）（2000年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(3)名古屋（比野教会）

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

(4)大分聖テレジア修道院（黙想）

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL.0975-41-4012

(5) a. 通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を
組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：北野真弓 〒163-0201東京都新宿区住友ビル私書箱22

TEL. 03-3344-2527

*「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。

定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。3冊以上注文されれば 20%引。

オリエンス宗教研究所

FAX. 03-3325-5322

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ. 03-3322-7601

b. 聖書深読（通信） *有光信子 連絡TEL. FAX. 0798-67-8132

10/8 年間第27主日 マルコ 10.2-16

11/12 年間第32主日 マルコ 12.38-44

2. 聖書と念祷の集い

指導 星野神父

日時：10月7日（土），10月14日（土）．3：30～

*急に変更になることもあります。その時は各自念祷をして御帰りください。

2000年 カルメル修道会東京・上野毛聖テレジア修道院（黙想）

§ 黙想会年間スケジュール §

1. 信徒と奉献生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、福田正範師（以上カルメル会）

Sr. 中川享子（ケベックカリタス会）、他

(1) 6月 1日（木）4時から10日（土）朝食（了）

(2) 10月20日（金）4時から29日（日）朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加も可能。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

2. 奉献生活者のための黙想会

(1) 7月24日（月）4時から8月2日（水）朝食 福田正範師（了）

(2) 8月11日（金）4時から20日（日）朝食 山田裕於師（了）

(3) 12月26日（火）4時から翌年1月4日（木）朝食 福田正範師

3. 聖書深読黙想会：次の各土曜の夕食から日曜の16時30分まで

(1) 4月15日から16日 奥村一郎師（了）

(2) 7月 1日から 2日 " （了）

(3) 9月30日から10月1日 "

(4) ~~11月25日から26日~~ "

9月 2日から 3日 （了）

(5) 12月16日から17日 星野正道師

2001年

(6) 1月27日から28日 奥村一郎師

(7) 3月31日から 4月1日 星野正道師

4. ウェンズデイ・リトリート

スタッフ：星野正道師

「キリスト教再確認」（音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.）

(1) 5月17日（水）10時から16時（了）

(2) 6月14日（水）" （了）

(3) 7月 5日（水）" （了）

(4) 10月11日（水）"

(5) 11月 1日（水）"

5. ウィークエンド・リトリート 新井延和師 (カルメル会)

(最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。)

- (1) 4月28日(金) 20時から30日(日) 15時 「復活」(了)
(2) 10月13日(金) " 15日(日) " 「アビラの聖テレジア」

6. 特別企画黙想会：いづれも通い可

- (1) 5月 9日(火) 夕食から11日(木) 昼食 アロジオ師(了)
(2) 12月 1日(金) 夕食から 3日(日) 昼食 チブリアノ師
(3) 2001年1月16日(火) 夕食から18日(木) 昼食 奥村一郎師

7. 大祭日のミサにあずかるために：チェックイン 午後3時から

(講話なし) チェックアウト午前10時まで

- (1) 復活祭 4月22日(土) 夕食なし～23日(日) 朝食 (了)
(2) クリスマス 12月24日(日) 夕食なし～25日(月) 朝食

以上、1. から7. までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。
皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355 お急ぎの場合 03-3704-2171

FAX. 03-3704-1764

8. 青年黙想会 (35歳までの男女) スタッフ：カルメル会士

- (1) 5月13日(土) 16時から14日(日) 16時(了)

希望者には5月12日(金) 20時から始まるプログラムもあります。

その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

- (2) 11月 3日(祭・金) 12時、昼食から 5日(日) 16時

青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAX で下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25カルメル会

青年黙想会担当神学生 FAX. 03-3704-1764

2000年 大聖年 黙想会 案内



聖書深読黙想会

1月15日(土)6:00PM ~ 16日(日)午後	奥村一郎神父担当
2月 5日(土)6:00PM ~ 6日(日)午後	中川博道神父担当
4月15日(土)6:00PM ~ 16日(日)午後	中川博道神父担当
5月27日(土)6:00PM ~ 28日(日)午後	新井延和神父担当
7月 8日(土)6:00PM ~ 9日(日)午後	奥村一郎神父担当
12月16日(土)6:00PM ~ 17日(日)午後	新井延和神父担当

男子青年のための黙想(高校生以上~35歳まで)

6月 3日(土)5:00PM ~ 4日(日)4:00PM	カルメル会士担当
11月25日(土)5:00PM ~ 26日(日)4:00PM	

女子青年のための黙想(高校生以上 ~ 35歳まで) 中川博道神父・カルメル宣教修道女会

2月20日(日)一日黙想 10:00AM~4:00PM
5月20日(土)5:00PM ~ 21日(日)4:00PM
11月18日(土)5:00PM ~ 19日(日)4:00PM

一般のための黙想

・週末黙想	1月29日(土)5:00PM ~ 30日(日)4:00PM	中川博道神父
	5月13日(土)5:00PM ~ 14日(日)4:00PM	奥村一郎神父 (但し男性のみ)
	6月17日(土)5:00PM ~ 18日(日)4:00PM	北村善朗神父

・日曜一日黙想	10:00AM~4:00PM	中川博道神父
---------	----------------	--------

4月9日 (テーマ) 『復活』
11月5日 (テーマ) 『日常生活の中の三位一体』

・幼いイエスの聖テレジア黙想		伊従信子氏(ノートルダム・ド・ヴィ)
(テーマ)『大聖年の恵みを生きる』	テレーズと共に[死後のテレーズの働き:掃天記念日に]	
	9月30日(土)4:00PM ~ 10月1日(日)3:00PM	

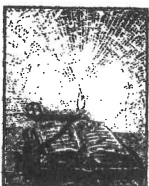
・2泊3日の黙想		伊従信子氏(ノートルダム・ド・ヴィ)
(テーマ)『大聖年の恵みを生きる』	テレーズと共に(慈しみの愛に身をささげた記念日に)	
	6月9日(金)PM4:00~11日(日)PM4:00	

・グレゴリオ聖歌黙想会		花井哲郎氏・中川博道神父
	12月1日(金)4:00PM~12月3日(日)4:00PM	(合唱経験者対象)

・木曜 黙想会	10:00AM ~ 4:00PM	
	1月20日	一年の霊的歩みのプログラム 中川博道神父
	2月17日	四旬節 中川博道神父
	3月16日	聖ヨゼフの月 新井延和神父
	4月20日	復活 中川博道神父
	5月18日	聖母マリア 新井延和神父
	6月15日	イエスの聖心 アロイジオ神父
	7月13日	カルメル山の聖母マリア 新井延和神父
	10月26日	祈り:アビラの聖テレサをとうして 中川博道神父
	11月16日	待降節・死 新井延和神父
	12月12日(火曜日)	クリスマス 北村善朗神父

奉獻生活者の黙想

7月24日(月)5:00PM ~ 8月2日(水)朝食	中川博道神父
8月 5日(土)5:00PM ~ 8月14日(月)朝食	金子尚志神父(フランシスコ会修練長)
12月27日(水)5:00PM ~ 1月5日(金)朝食	チブリアーノ神父



宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12
Tel 0774-32-7016 / Fax 32-7457

最寄の駅: JR奈良線 木幡駅 or 六地藏駅 / 京阪宇治線 木幡駅 or 六地藏駅

2000 カルメル会 黙想会

ウィークエンド・リトリート

—アビラの聖テレジア—

- * 日時 10月13日(金) 20時 ~ 15日(日) 15時
- * 指導 カルメル会 新井延和師
- * 費用 ￥11,000
- * 最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院 (黙想)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

TEL 03-5706-7355 (お急ぎの方は、03-3704-2171)

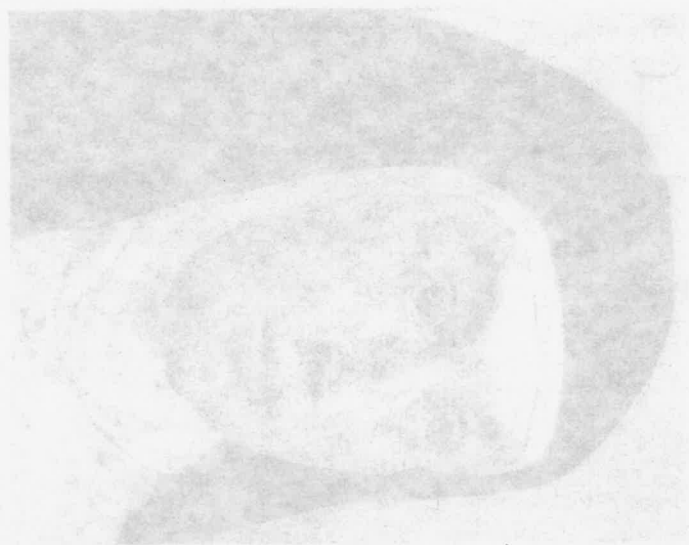
FAX 03-3704-1764



会 慰 焦 会 小 × 小 次 0 0 0 5

ト ー リ オ リ ・ フ ィ ズ エ ー ク 次

ー ア ジ ヴ テ 聖 の モ ジ ャ ー



朝 日	欄 日	*
朝 日	欄 日	*
朝 日	欄 日	*
朝 日	欄 日	*
朝 日	欄 日	*
朝 日	欄 日	*

。セ ま ち ア 聖 の モ ジ ャ ー 。 合 衆 の 小 次 甘 ま せ ぎ 食 べ の 日 の 時 景 *

(贈 券) 朝 日 欄 日 小 次 聖 の モ ジ ャ ー 全 小 × 小 次
 3 8 - 4 1 - 8 手 裡 上 刈 谷 田 州 康 京 東 8 0 0 0 - 8 2 1 千
 (I T I S - 4 0 7 8 - 8 0 , 小 次 の も 感 心) 8 2 8 Y - 3 0 Y 2 - 8 0 JET
 4 8 Y 1 - 4 0 Y 8 - 3 0 Y 4



T. T. クラブ

～10代・20代の
青年たちの集い～

- 第49回 12月23日 (土) 「バンクエット」
- 第50回 1月13日 (土) 「現代の青年」
- 第51回 2月3日 (土) 「理想の教会像」
- 第52回 2月17日 (土) 「信頼関係」
- 第53回 3月3日 (土) 「新聞で折る」
- 第54回 3月17日 (土) 「神様」

カルメル会では、10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を行っていきます。このクラブの特徴は、福音・現代の話題を使って、祈り、お互いの話を聞く、自分の考えを話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するということを中心に置くことです。その中で、お互いに神様から頂いた“宝”を発見し、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願っています。

ぜひ、参加してみてください。わたしどもスタッフは心からお待ちしております。

実施日とテーマ

- 第44回 10月7日 (土) 「イエスの魅力」
- 第45回 10月21日 (土) 「恋愛について」
- 第46回 11月11日 (土) 「環境問題」
- 第47回 11月25日 (土) 「洗者ヨハネから学ぶ」
- 第48回 12月9日 (土) 「ストレス」

- * 時間 いずれも P.M.7:00 から P.M.9:00 まで
- * 対象 10代・20代の青年男女
- * スタッフ カルメル会士
- * 場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F
- * プログラム

7:00~7:15 はじめの集い (みんなで歌うなど)

7:15~7:30 テーマの解説

7:30~8:00 祈りの時間 (沈黙の祈り)

8:00~ ○折ったことの分かち合い

○カトリック教会のカテキズム

○ともに折る時

9:00 解散

カルメル修道会 T. T. クラブ係

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

☎03(3704)2171



修道生活、司祭生活を考える若者の集い

NO. 17

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおさそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないか、と思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないか、ということで始まりました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来てみませんか。

*日時 11月26日(日) 10時から16時まで、昼食は各自お持ちください。

*対象 30才くらいまでの独身男女青年

*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

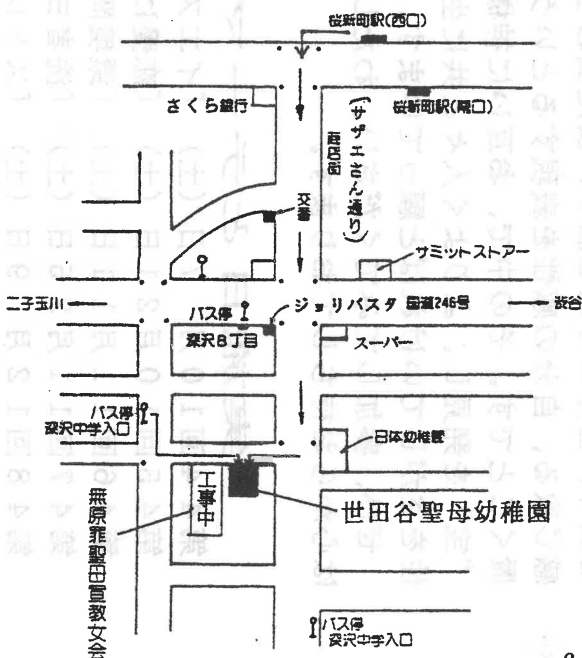
*費用 1000円

*内容 主日ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

*連絡先 158-0093 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会
星野正道神父 TEL 03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

*会場 無原罪聖母宣教女会修道院隣り、世田谷聖母幼稚園
〒158-0081 東京都世田谷区深沢8の13の16
東急田園都市線桜新町駅下車



〈地下鉄〉

① 渋谷駅より
田園都市線(二子玉川方面)
桜新町駅下車 徒歩12分


〈バス〉

② 渋谷駅より 南口
18番のりば(新道経由)
二子玉川駅行 } いずれも
高津営業所行 } 深沢8丁目下車
徒歩3分

③ 東横線都立大学駅より
成城学園前駅行 深沢中学入口下車
徒歩1分

④ 目黒駅より 深沢中学入口下車
弦巻営業所行 徒歩1分

無原罪聖母宣教女会
〒158-0081
東京都世田谷区深沢8-13-16
☎ 03-3701-3295



黙想会ご案内



— 神の示される道を求めて —

テーマ：修道召命とわたし

日時：10月14日（土）13時受付

～15日（日）16時解散

対象：20～30代の女性信徒

指導：中川 博道 師（カルメル会）

場所：カルメル会「宇治黙想の家-テラリア館-」

費用：5000円（当日会場でお支払い下さい）

定員：15名（定員になり次第締め切りといたします。）

申込み：10月7日（土）迄。（下記宛にお願いします）

* * *

— 神の示される道を求めて —

テーマ：修道召命とわたし

日時：2001年2月10日（土）13時受付

～11日（日）16時解散

対象：20～30代の女性信徒

指導：星野 正道 師（カルメル会）

場所：カルメル会「上野毛黙想の家-テラリア館-」

費用：5000円（当日、会場でお支払い下さい）

定員：15名（定員になり次第締め切りと致します。）

申込み：2月3日（土）迄。（下記宛にお願いします）

☞ 聖ウルスラ修道会「東京修道院」

☎180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町4-27-18

TEL/FAX ; 0422-56-9889（係宛）

2000年度 東京カルメル在俗者会 黙想会

場 所 カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想）

日 程

ご指導

- ・ 6月15日（木）夕食 ～ 6月18日（日）昼食 チブリアノ神父様
- ・ 8月24日（木）夕食 ～ 8月27日（日）昼食 アロイジオ神父様
- ・ 9月14日（木）夕食 ～ 9月17日（日）昼食 星野 正道神父様
- ・ 10月 2日（月）夕食 ～ 10月 5日（木）昼食 チブリアノ神父様
- ・ 11月16日（木）夕食 ～ 11月19日（日）昼食 福田 正範神父様

☆空きがある場合には、一般の方も参加できます。おたずねください。

☆お申込み、お問合わせは下記まで

TEL & FAX 045-562-2296（永瀬）

鐘が鳴る

鐘が鳴る。鐘が鳴る。イザロンの狭い石畳の道で、この人の頭上に鳴り響いた鐘の音が、僕の耳にも聴こえる。この胸の響きを、この胸の高鳴りを、僕は誰に伝えよう。この胸のふくらみ、この胸の鼓動を。人生ってなんだろう。めくるめく恋の陶醉や甘美な調べ、またひどく苦しい夜な夜なの思いも織りまぜて、青春を過ごし、旅する人のように老年を迎え、やがていずこともなく消えていく。そんなこととは露知らぬ気に、いつ果つるともなく鐘が鳴る。この胸の響きを、この鼓動を——ねえ人生ってなんだろう。

蛭田幼一



黙想へのお誘い

メディテーション

「会社帰りの黙想」

—あわただしい毎日に平安のオアシスを—

4月から、聖イグナチオ教会で黙想の場が開かれます。リーゼンフーバー神父により、黙想のさまざまなやりかたが紹介され、参加者一人ひとりが沈黙のうちに聖書の言葉を種にし、自己を探り、静かに考え、祈ることができます。始めと終わりにオルガン演奏もあります。信仰・宗派を問わず、毎日の忙しさから解放され、夕べのひとつとき心を深めたい方どなたでも歓迎です。随時参加・遅刻可、参加無料です。初めて黙想なさる方も、お気軽に訪れてみませんか。

日時：毎月第2・第4火曜日 18:45～20:00

場所：東京聖イグナチオ教会マリア聖堂（中聖堂）
（東京都千代田区麹町6-5 TEL.03-3263-4584
JR・地下鉄 四ッ谷駅から徒歩）

指導神父プロフィール

クラウス・リーゼンフーバー (Klaus Riesenhuber) S.J.

1938年生まれ、1967年来日

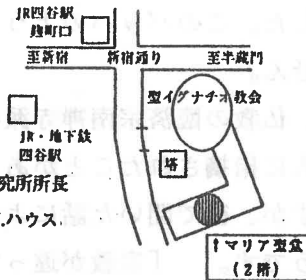
イエズス会司祭、哲学・神学博士

元放送大学客員教授(1991～1999年)

現在、上智大学文学部哲学科教授・上智大学中世思想研究所所長

連絡先：〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1 上智大学S.J.ハウス

TEL.03(3238)5124(直通)/5111(伝言)



宇宙の子守歌 (1 1)

「信 仰」

人間は、なぜ苦しくても悲しくても神仏を信じていられるのでしょうか。世界中には沢山の宗教があります。人にとって信じられるものとは何でしょうか。人はどんな手段で自分の信じているものを表しているのでしょうか。

ヨハン＝セバスチャン＝バッハは、今から三百年位前に生きた人です。音楽の天才的な素質をもち、信仰心の厚い、敬虔な環境に育ちました。彼は、自分の作曲活動に信仰心を取り入れています。例えば、「15のインヴェンション」の第一番の楽譜では、最初の休符が神様へのおじぎで、「音楽を神様にささげます」と歌っています。また、ある有名な合唱曲には、開いたとたんはっとするような一頁があります。その頁には、細かい16分音符でうめられた大きな十字架が浮かび上がり、その十字架の足元に、バッハ自身の名前のスペルをドイツ音名で表した「BACH」すなわちシのフラット、ラ・ド・シをひざまづかせているのです。それをピアノの先生が教えて下さった時、私はとても感動しました。バッハは、自分が譜面に書いている曲は神様が自分を通して書かせていると考えていました。出来上がった作品には必ず、「この曲を神様にささげます」と書いて、神様にその曲を返す気持ちでいたようです。そして、作品が生まれるのに大切なのは、信仰、愛、感謝だと思っていました。このバッハのように、自らの信仰心をいろいろな面で表している人は少なくありません。

私の家は、仏教の臨済宗南禅寺派のお寺です。「なぜキリスト教の学校に入ったのか。」と何人もの人に指摘されたことがあります。私自身もそれはよく分からなくて、少し悲しかったのですが、後で聞いた話によると、入学する時、私の父方の祖父が母方の祖父にこういったそうです。「宗教が違って、信じる心が変わりはない。」その言葉は、私の心の中で強く響きました。そしてまた、その言葉は私が人にそう指摘された時の答えとして返せた素敵な言葉です。

自分以外の方は、自分にとってはただの背景でしかないのに、みんなそれぞれが、私と同じように特別な自分として生きています。でも、たった一つ背景ではないもの…それが信じられるものです。信じられるものがあるからこそ、人は苦しみや悲しみの中にも生きていけるんだと思います。そして、いつも愛することや感謝することを忘れないのです。

私は、宗教にとらわれず、信仰心を養わせようとしてくれた家族、音楽の中の信仰心を

教えてくれたバッハとピアノの先生、そして信仰心というものを教えてくれた光塩に感謝の気持ちを持って、この学校を卒業したいです。

(1999年 2月27日萩光塩学院新聞)
(六年 難波留里さん「意見文」)



ヘンリ・ナーウエンの『旅路の糧』(26)

言葉を賢明に選ぶこと

言葉は、とても大切です。だれかに向かって「お前は下品で、役立たずで、見下げはてたやつだ」と言うならば、彼との関係を生涯にわたって破壊してしまうことになるでしょう。その言葉は、長い年月彼を傷つけ続けることでしょう。

それゆえ、言葉を賢明に選ぶことは、とても大切です。私たちが怒りでたけり狂い、辛らつな言葉を相手に投げつけようとやっきになっている時は、沈黙したままの方がよいのです。怒りの内に言葉が語られるならば、和解は非常に難しくなるからです。相手に対して、死ではなく生を選ぶこと、呪いではなく祝福を選ぶことは、しばしば、沈黙の内にとどまることによって、あるいは癒しの道を切り開く言葉を慎重に選ぶことによって始まるのです。

(0905)

愛の言葉を語ること

私たちは、話さなければならない時に、しばしば沈黙したままです。言葉なしでは、相手をよく愛することは困難です。私たちが、両親や子供や恋人や友人に向かって、「あなた(たち)をととても愛しています」とか「あなた(たち)のことをいつも心配しています」とか「あなた(たち)のことをいつも思っています」とか「あなた(たち)は、かけがえのない贈り物です」とか言う時、私たちは、相手を力づける言葉を選んでいっているのです。

私たちの愛を、直接言葉で表現することは、必ずしもたやすいことではありません。けれども、私たちがそうした時は必ず、長い間ずっと思い出すことになる祝福の言葉を相手に向かって語ったことに気づくのです。息子が父親に向かって、「僕、お父さんが大好きだよ」と言う時、母親が娘に向かって「私はあなたが大好きよ」と言う時、まったく新しい祝福された場、生きることが肯定される空間が切り開かれるのです。実に言葉は、命を創造する力を持っているのです。

(0906)

九里 彰訳

年間第26主日

「これらの小さな者の一人をつまづかせる者は大きな石臼を首にかけられて、海に投げ込まれるほうがはるかによい」(マルコ9:42)

大石順教という尼さんの書いた本(「無手の法悦」春秋社)にこういうエピソードが出てきます。大石順教は17歳のとき両手を失うという惨事に遭うのですが、彼女の事件は当時有名だったので、踊りを習っていたこともあり、寄席に出るよういわれ、全国を巡業して回りました。東京に行ったとき、出迎えの人たちは彼女をなんと吉原に連れて行きました。一番上位の花魁(おいらん)と彼女を引き合わせて、花魁がどう扱うかを見て楽しもうという趣味の悪いことを考えたのです。現れた花魁はなんと姉妹のように親しかった幼なじみでした。

このくめという女性は、維新後没落した貧しい家に生まれ、大石順教の実家に女中として奉公していました。大石順教が踊りの師匠の家に養女として入ってから、彼女は義理の父に吉原に売られてしまっていたのです。思わぬところで再会した二人は、別れてからのお互いの身の上を涙ながらに語り、夜を明かしたのです。その後何度も大石順教はくめを訪ね、その生活ぶりを身近に知るようになります。

くめの部屋には1尺ほどの仏像が安置されており、毎朝身を清め、香をたき黙禱をしていました。その姿は普賢菩薩の化身のように尊く見えたそうです。この仏像は11面観音で、代代家に伝わった大切なもので、お金に困った時よほど手放そうかと思っただけのことでしたが、手放すことなく、吉原まで持ってきたそうです。くめは観音にすがって生きており、朝の別れの際には、男にこういうところには深入りしないようにと言うのです。この身このままを菩薩の行としてまじめに勤め上げ、亡き父母や家の者の冥福を祈りたいと念願しています。そして両手を失って失意のどん底にある大石順教を、観音は何事もわが身に代えて救ってくださる、不幸は自分の心の中にあるのだから、どんな生活でも決して不幸ではない、二人で菩薩行をしましょうねと励ますのでした。明治40年のことです。

このくめがその後どういう人生を歩んだか、大石順教は何も書いていません。多分知らなかったのでしょう。私はくめが清らかな心を保ったまま生涯を終えてくれたと思いたいのです。世の中には実にさまざまな誘惑があります。人間万事色と欲であり、信じられるのは自分と金だけというさびしい考え方がはびこっています。くめも信頼を裏切られたり、冷たい仕打ちを受けたり、弱気になったりした時、神も仏もないと思う誘惑を受けたことでしょう。小さな者をつまづかせる人や出来事が本当にたくさんあるのです。せめて私たちはそういう事をしないように心がけたいものです。

(新井)

年間第27主日

子供らしい驚嘆がすべての祈りと礼拝の核にある(マルコ10:16)

ある日曜学校で神様への手紙を書きました。たとえば、ジェインは「人々を死なせたり、生まれさせたりするよりも今いる人々をずっと生きさせたらどうですか」と神に問うています。ラリーは「カインとアベルは自分の部屋を持っていたら殺し合わなかったと思う。兄さんとは部屋が違うからうまくいっているよ。」と言い、またミッキーは「日曜日に教会をご覧になったら、僕の新しい靴をお見せします。」と秘密を打ち明けています。神様への手紙から祈りにおいてどのように神に近づくべきか学べるのでないでしょうか。

子供は物事を具体的にしてくれます。わたしたちの持つすべては神の賜物です。御前では私たちは小さく、御前でのあるべき位置を受け入れたら、私たちは謙遜になります。子供は謙遜です。自分のものがないとわかっています。大人たちを信頼しています。自分では必要なものの全部が出来るのでないわかっています。子供は傷ついたのを忘れたかのように赦します。恨みも反感も持ちません。子供のこういう性質をイエスは評価します。神の国ではこうありたいとイエスは思っています。

子供は父親が何でも知っていて、いつも正しいと思っています。誰も悪いと思いません。誰とでも仲良くなります。ある偉人がかつてこう言いました。自分が受けた最大の賛辞は、始めて見る小さな男の子がとことことやって来て、靴紐を結んでくださいと言ったことであると。子供はまだ疑うということを知りません。他人の善良さを信じています。この信頼が危険を招くときもあります。信頼に少しも値しない人もいるし、信頼につけこむ人もいるからです。しかしこの信頼は素敵なものです。また子供は恨みをもったり、反感を抱きつづけることも知りません。不正な扱いを受けても、すっかり忘れるので、赦す必要も感じません。

本当に信仰を持っている人は子供のような信頼で神に身を委ね、自分がすべきことをすれば神が残りをしてくださると確信しています。だから、わたしたちのキリスト教的信仰は子供のような、信頼する、謙遜で従順な信仰です。山をも動かすほどの信仰です。この山とは、今日あまりにも多くのキリスト者の目にそそり立つ、疑いと利己心と権威への従属を拒む心の山です。キリストは私に従いたいなら、日々十字架を担い、私に従いカルワリオへの道を登るようにと仰います。この日々の十字架は、避けることの出来ない困難と試練からなっています。これらは、いやいや不平を言いながら担うことも出来るし、来世のために愛する神が用意した訓練の手段として受け入れることも出来ます。真のキリスト者なら後者に取ります。信仰に忠実なら、地上の年月は来世の用意をする見習期間だとわかります。私たちが信仰を子供のように謙遜に従順に信頼して生き、地上の巡礼の日々を送るなら、神があまりたくさんのごことを要求なさらないのは確かです。 (Beatrice)

年間第28主日

「あなたに欠けているものが一つある」(マルコ10:21)

今日の福音は金持ちの青年とイエスの対話で始まります。永遠の命を受け継ぐには何をすればよいかと尋ねる青年に、イエスは十戒を守るように言うのですが、青年は子供の時から守ってきたと答えます。そこでイエスは彼を見つめ、慈しんで「あなたに欠けているものが一つある。行って持っている物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。それから私に従いなさい。」と言います。金持ちの青年はこれを聞いて悲しみながら立ち去りました。イエスは「金持ちが神の国に入るよりもらくだが針の穴をとおるほうがまだ易しい。」と仰います。富は神の祝福の現れだと考えられていましたから、弟子たちは驚いてしまい、金持ちが救われないのならいったい誰が救われるのだろうと互いに言い合いました。イエスは「人には出来ないが、神にはできる。」と説明されました。

この箇所はすべてを捨ててキリストに従う大切さを説くと普通解釈されますが、私は「あなたに欠けているものが一つある」という言葉に注目したいと思います。この私たちに欠けているものとは、自分の力では出来ないものを指します。これがあるのは実は祝福されたことなのです。私たちは自分の身に神の力が働くのを望んでいます。この青年も掟を守るだけでは物足りなくて、神にもっと徹底的に仕え、神の御旨のままに生き、神の力が自分に現れるのを期待してイエスのもとに行ったはずです。神の力が現れるには、神の前に降参しなければなりません。主よ、私には出来ません、したいと切望しているのに自分の力では出来ません、私にはあなたの力が必要だと叫ぶとき、初めて神の力がわたしたちの中に力強く働きます。例えばペトロは、主のために死ぬという望みが自分の力では果たせないと骨身にしみ教えられました(ルカ22:61)。パウロは肉のとげを取り去ってもらうことが出来ず、自分の弱さを誇るまでになりました(Ⅱコリント12:9)。こうして二大使徒は神の力が現れる器に変えられたのです。こんな大聖人の強烈な体験でなくても、もっとささやかなものでもいいのです。それが神と私の望みであり、何度もやろうとしたのに出来ない、自分の力では不可能だと悟るものであればなんでもいいのです。ある人は短気を抑えられず、家庭が崩壊の危機にあります。ある人は、お菓子があれば必ず手を出してしまいます。自分の子供たちさえ出来る節制が出来ません。こういう恥ずかしい欠点をどうしても克服出来ません。しかしこのときこそ神の力が働くときです。神に感謝と賛美を捧げるときです(Ⅰテサロニケ5:18)。神には出来ない事がないからです。

金持ちの青年は、神には出来ない事がないということを知りませんでした。これが彼の咎です。主の復活の前だから仕方なかったのかも知れません。私たちは神の力を知っていて、信頼しています。

(新井)

年間第29主日

**「私たちは、仕えられるためではなく仕えるために来たイエスに
倣わなければならない」(マルコ10:45)**

「お客様にご奉仕いたします」こういう広告をよく見かけます。教会の仕事も奉仕することです。何度も主は、職業としての奉仕と教会の職務としての奉仕の違いを強調されたのではないのでしょうか。奉仕の質が違うはずです。また個人的接触と言う点では、すべての人の必要に奉仕します。何の見返りも求めないとき、より鮮明にキリスト教的になります。キリスト教的奉仕とは、自己否定と犠牲であり、お金を分かち合うだけでなく時間と心配をも分かち合うことであり、自分が傷つくまで分かち合うことです。

マハトマ・ガンディーが都市を訪れたときはいつも、不可触賤民(彼はハリジャンすなわち神の子と呼び方を変えました)の家に泊まりました。彼のアシラムの共同生活では、政治で重要な役目を持っているときでさえ、いつもトイレ掃除をしていました。死ぬまでこれを続けました。こういうようにして、彼はイエスの特別な証し人、イエスが称えるしもべであったのです。

人を真に偉大にするのは何でしょうか。社会には偉大さの基準があります。仕事の成功、魅力的な個性、肉体の美、芸術を行なう卓越さ。何か目覚ましい事をしなければなりません。主にもこの点について2, 3のお考えがおありです。偉大さにあこがれる主の弟子は、仕える者にならなければいけません。今日の福音は私たちに挑戦を与えます。それは、イエスが私たちにしてくれたように、他者を愛して自分の生を与えることが出来るかと挑みます。そしてこれを始める最適の場は、自分の家庭と職場です。神の子としてすべての権力が自分にあったのに、イエスは友人たちに尊大な態度をとらず、仕えるものとなりました。聖木曜日の晩、彼は主として振舞いましたが、謙遜にしもべの「食卓の奉仕」をしたのです(ヨハネ13:13)。イエスの王国において基準は仕える事です。偉大さは、他の人たちを自分に奉仕させることでなく、自分が奉仕することにあるのです。世界は理想が奉仕である人々を必要としています。言い換えると、イエスがどんなに健全なことを語ったかわかっている人が必要なのです。奉仕がキリスト者の親が子供に対する態度であり、責任ある地位にいる指導者の部下に対する態度でなければなりません。

今日、キリストがわたしたちの地上での短い人生の間に、金持ちにし、幸せにし、繁栄させるために来たと考えるキリスト者はいないものの、天上の栄光への道が十字架の道であるとのキリストの教えを受け入れたがらないキリスト者が多いのは残念です。出合う十字架と試練のほとんどが人生の規則、愛と正義の法を自分か他人が破っているゆえ生じたものです。私たちは天国の市民です。障碍はつきものです。人生には困難と試練があるでしょう。しかし自分の十字架を眺めるだけで、キリストが救いを可能にするために忍んだことに比べれば、自分の救いのためにほんの少し苦しむように頼まれているだけだとわかるでしょう。イエスをご自分の死に与える積極的意味を銘記しましょう。彼にとって十字架の道は、第一に苦しみでなく奉仕なのです。

(Beatrice)

年間第30主日

「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。」(マルコ10:47)

皆さんは魂の奥底からの祈りをしたことがおありでしょうか。今日の福音に出てくるバルティマイは正にこういう祈りをしました。エリコの町で物乞いをしていたバルティマイは、イエスがお通りになると聞いて大声で「ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください」と叫びました。彼は何度も何度も大きな声で叫んだので、多くの人々がうるさく感じ、彼を黙らせようとなりました。しかし彼はますます大きな声で叫びつづけたので、イエスの耳に達し、来るように言われます。イエスは「何をしてほしいのか」と尋ねます。彼は単純に「先生、目が見えるようになりたいのです。」と答えます。イエスが「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」というとすぐに見えるようになりました。

バルティマイの叫びは本物の祈りでした。キリエエレイソンという表現は彼の言葉から取られています。彼は目が見えるようになりたいと切望していました。この「見える」は霊的な意味を兼ねていると思います。ヨハネ9:41で主は「あなた方は『見える』と知っている。だからあなた方の罪はそのまま残る。」と霊的盲目について述べています。エリコに入る前、ヤコブとヨハネがイエスに、主が栄光を得たとき、主の左右に座らせてほしいと願ったことが記されています。12弟子の中でも柱となる3人のうちの2人が、こんな傲慢なことを願うのです。他の弟子もこれを聞いて怒ったのですから同じようなものでした。ヤコブとヨハネが、願いがありますと行って近づいてきたとき、イエスは「何をしてほしいのか」と尋ねます。バルティマイに言った言葉とまったく同じです。しかしゼベダイの兄弟たちには「あなたたちは自分が何を願っているのかわかっていない。」と仰り、エリコの盲人には「あなたの信仰があなたを救った」と仰るのです。

ヤコブとヨハネは栄誉を求めていましたが、バルティマイはただ見えるようになりたいとだけ願っていました。イエスに呼ばれたとき、上着を捨てて、急いで行きました。上着は喜捨されるお金を受けるためのものだったでしょう。この行動から、彼は目が見えるようになったらどうやって食べていこうかなどと何も心配していません。主は「私の名によって願うことは何でもかなえてあげよう。」(ヨハネ14:13)と言います。また「求めなさい。そうすれば与えられる。」(マタイ7:7)とも、「神は、昼も夜も叫び求めている選ばれた人たちのために裁きを行わずに放っておかれることがあるか。」(ルカ18:7)とも仰ります。私たちが真剣に祈るとき、神は必ず答えてくださいます。魂の奥底からの叫びをあげつづけるとき、実は私たちの内面が清められ、神の望みを望むようになっていきます。そうすれば神は祈りに答えてくれます。わたしたちの一人一人に御旨が行われますように祈ります。(新井)

命のパンとなつて

(ヨハネ6・35)

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

ヨハネ福音書の中には、イエスがパンを増やされた後、カファルナウムで話された時のことが記されており、次の言葉が出てきます。「朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。これこそ、人の子があなたがたに与える食べ物である」(*1)と。

イエスの言葉を聞いた人々は、この食べ物とは「マナ」のことだ、と考えたでしょう。メシアが来られる時に天から降ると言われていた「第二のマナ」を、人々は待っていたからです。

群衆がご自分の言葉を理解しないのをご覧になって、イエスは、ご自分こそ、天からのまことのパンであると告げられ、これを信仰によって信じるよう人々を招かれます。

ここでイエスはすでに、ご自分を「パン」として示しておられます。人に食されるパンとなること、これが、イエスが地上に来てくださったことの最終目的でした。それによって、私たちがイエスの命にあずかり、もう一人のイエスへと変えられていくためです。今月のみ言葉には、このような霊的意味や旧約聖書とのかかわりがありますが、これに続くイエスの言葉は、神秘的で難しく響きます。ご自分について、イエスが次のように言われる箇所です。「わたしが与えるパンとは、世を生きるためのわたしの肉のことである」(*2)、「人の子の肉を食べ、その血を飲まなければ、あなたたちの内に命はない」(*3)と。

イエスは「ご聖体」について語られたわけですが、多くの弟子たちがこれにつま^とずき、去っていきました。しかし、ご聖体こそ、イエスがすべての人々のために調えられた最大の贈り物です。聖体の秘跡の中に現存されるイエスご自身が、私たちの魂と身体を満たし、私たちはイエスと深く結ばれ、満ち満ちた喜びを頂きます。

ご聖体で養われる時、もはや私たちは、他のものに飢え渴くことがないでしょう。愛や真理を求める人も、愛そのもの、真理そのものである御方によって、満たされ

るのです。

わたしが命のパンである。わたしのもとに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことがない。

この命のパンによって、私たちは、地上にあるうちから、イエスに養われます。しかし、それだけでなく、イエスに養われた私たちは、周りの人々の精神的・物質的な飢えを満たすことができます。

世の人々が、ご聖体を通してキリストを知ることはいまありませんが、「ご聖体とみ言葉に養われたキリスト者」に出会うならば、人々はキリストに出会うことができます。キリスト者は、生活と言葉によって、周りの人に福音を伝え、人々の間にキリストの存在をもたらすことができるのです。

またキリスト者の共同体は、ご聖体の恵みによって、イエスの生き方にならうものとなっていき、他の人々にも神の愛と命を分かち合うことができますでしょう。

ご自分をパンにたとえながら、イエスは、最も真実で「キリスト教的な」隣人の愛し方を、私たちに教えてくださいました。

実際、愛するとはどういうことでしょうか。

愛するとは、すべての人と「一つになる」こと、相手が望むすべてにおいて、私たちがその人と一つになることです。たとえ、自分にとっては小さく意味がないこと、あまり大切とは思えないことでも、相手に関心を持っているならば、私たちがそれに心を合わせましょう。

イエスは私たちのために、パンとなられ、素晴らしい形で「愛の模範」を示してくださいました。すなわち、すべての人の中に入り、人がご自分を食することができるように、またすべての人と一つなり、すべての人に仕え、愛するために、イエスはパンとなられたのです。

私たちが、イエスがパンとなられたように、相手と一つなることで、その人に自分を与えることができますでしょう。

これが、愛です。私たちの愛によって、相手が「自分は養われた、慰められた、心が軽くなった、理解された」と感じるまで、私たちがその人と一つになることです。

キアラ・ルービック

*1 ヨハネ6・27

*2 同6・51

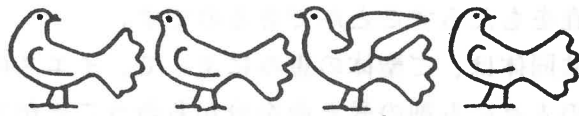
*3 同6・53

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055



大 聖 年
— キリスト年の祈り —

主イエス、わたしたちをして、

真心こめて福音を、生きさせてください。

福音的貧しさを、大切にさせてください。

現代社会の悪習から救ってください。

苦難の中にある人々に、仕えることのできる者
にならせてください。

み母マリア、御子イエスに従って十字架の道
を歩めるよう、わたしたちを助けてください。

アーメン

たかとし ひらかず

青年男女のための黙想会

「私はあなたがたを友と呼ぶ」(ヨハネ15章15節)
イエスの呼びかけに答えて



日時：2000年11月3日(金)午後4時(受付開始3時)から
11月5日(日)午後1時頃まで
(今回は2泊3日のプログラムだけです。)

場所：上野毛聖テレジア修道院(黙想)(東急大井町線上野毛駅より徒歩5分)

対象：高校生以上の青年男女(35歳まで)

定員：20名

指導：カルメル会士

費用：9,500円

参加ご希望の方は、葉書かFAXで住所・氏名・電話番号・年齢をご記入の上、10月16日(月) **(必着)** までに、下記までお申し込み下さい。折り返し、こちらよりご連絡させていただきます。

(お問合せ及びお申込先)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25

カルメル修道会 東京青年黙想会係

TEL (03) 3704-2171

FAX (03) 3704-1764

青年男女のための懇話会

「青年男女のための懇話会」(1958年11月) 11月2日(日) 11月5日(水)

トエトの呼びかけに答えて



11月2日(日) 11月5日(水) 11月8日(土) 11月11日(火) 11月14日(金) 11月17日(日) 11月20日(水)

11月22日(土) 11月25日(火) 11月28日(金) 12月1日(日)

(11月23日の夜に開催)

11月23日(月) 11月26日(木) 11月29日(日) 12月2日(水) 12月5日(土) 12月8日(火) 12月11日(金)

12月14日(日) 12月17日(水) 12月20日(土) 12月23日(火) 12月26日(金) 12月29日(日)

12月31日(水)

1958年12月31日

1959年1月1日

1959年1月4日(日) 1959年1月7日(水) 1959年1月10日(土) 1959年1月13日(火) 1959年1月16日(金)

1959年1月19日(日) 1959年1月22日(水) 1959年1月25日(土) 1959年1月28日(火) 1959年1月31日(金)

1959年2月3日(日) 1959年2月6日(水) 1959年2月9日(土) 1959年2月12日(火) 1959年2月15日(金)

(1959年2月18日)

〒158-0003 東京都世田谷区上野毛3-14-22

青年男女のための懇話会 東京支部

TEL (03) 3704-3171

FAX (03) 3704-1784

諸所の企画についてのご紹介

I. ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

*いのちの泉へ 大聖年にあたって新しく歩む祈りの道

2000年 10/21. (土) 様々な祈り

11/18. (土) 祈りの難しさ

12/16. (土) 聖性への招き

2001年 1/20. (土) 信仰による神との一致

2/17. (土) 感謝(ユカリスチア)の祈り

3/17. (土) 復活への道

講師：伊従 信子(ノートルダム・ド・ヴィ 会員)

プログラム：午後2時～午後5時半。講話、祈り、お茶&質問の時間。ミサ(日曜

日のミサ)申し込み：電話(18:00-21:30)・Fax(03)3594-2254。参加費：200円

スズランハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。：詳細を知りたい方は、下記へ

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

III. 風 の 家

指 導：井上 洋治 師(東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『風』編集者

*新住所 〒700-0808 岡山市大和町1-11-17

Tel・FAX 086-227-5665 詳細はお電話でお尋ね下さい。

IV 生命山カトリック別院

〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

黙想会 指導：フランコ神父 ・ 園田善昭神父

諸宗教対話活動 仏教者との交流

21世紀に向けて第4回宗教者平和の祈りの集会

*日時：10月8日 午後 *場所 生命山カトリック別院

祈りの集い 年間テーマ「私を見た者は父を見たのである」

(10:00～15:00) 10/12. 11/9. 12/14 (木)

*このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申し込みは生命山別院へ

V. 瞑想の家 東 光 庵

指 導：ヨハネ・ウマンス師(神言会) *詳細問い合わせは電話で

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

VI. リーゼンフーバー神父による研究会 (1999～2000年)

①キリスト教入門講座

日 時：金曜日 18:45～20:30

場 所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール

対 象：キリスト教を学び、信仰を自分自身の問題として考えたい方
どなたでも。予備知識は必要ありません。

9/29洗礼と堅信－イエスに結ばれて生きる

10/6教会の成立と意味－イエスを中心に生きる

10/13 人間としてのイエス－新しい人間像の基礎付け

10/20 御子としてのイエス－イエスの神との関係

10/27 父と子と聖霊－神の命に与える

11/10 信仰の決断－支えられて生きる

11/17 ミサ祭儀－神への奉仕と生活の糧

11/24 自己実現と神の意思－生き方の規範

黙想会 11/25～11/26

②神学読書会 日 時：毎月第2・第4(第5)水曜日 18:30～20:30

場 所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期的参加

対 象：キリスト教の基本的知識を持っている20代～30代の方。

③聖書研究会* 日 時：毎月第1・第3水曜日 18:30～20:00

場 所：S.J.ハウス第5会議室

内 容：日曜日の聖書箇所を読んで一緒に考える。どなたでも。

* 日 時：木曜日 12:40～13:25

場 所：上智大学7号館 316号研究室

内 容：新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

④坐禅会 日 時：月曜日 17:20～20:10 木曜日 18:00～20:30

場 所：クルトゥムハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。

どなたでも。遅刻、不定期参加も可。

関東 10/31(火)夜 ～11/5(日) 16:00 秋川神瞑窟 一泊2400円程度

2000.1.2/17(土) 8:30～18(日) 16:00 上石神井 5,400

8/1(火) 17:30～7(月) 13:00 宝塚市②

連絡先：①シスター朝山 TEL.0727-59-3742 ②岸本 正 TEL.078-583-3067

⑤ミサ：水曜日 17:10～18:00 場所：上智大学内クルトゥムハイム1階右小聖堂

⑥黙想：毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時

水曜日 18:00～18:30 場所：上同じ(ミサ、黙想、(8月.11/1月を除く))

⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30～16:00 場 所：S.J.ハウス第5会議室

講話、黙想、ミサがあります。

⑧ 10/21.11/18 12/9.2001.1/13.2/24.3/10

⑨アガペ会：説明会と集い・下記の日 13時30～.1/22.(20代～40代の信者)

10/4(土) 2001.1/20(土)

以上、問い合わせ・連絡先：クラウド・リーゼンフーバー神父

〒102-8571東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J.ハウス

直通電話 03-3238-5124、5111(伝言)、FAX,03-3238-5056

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会東京修道院

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

黙想会「聖書で祈る」

申し込み先…… 佐々木明子

指導：雨宮 慧師（東京教区司祭） 対象：一般信徒

2000, 10月28日（土） 5:30PM ~ 10月29日 4:00PM

2001, 2月24日（土） 5:30PM ~ 2月25日 4:00PM

召命を考える祈りの集い

指導：星野正道師（カルメル会） 対象：女子青年信徒

2000, 10月8日（日）5:30P.M ~ 9日（月）4:00P.M （一泊になりました）

2001, 2月11日（日）5:30P.M ~ 12日（月）4:00P.M （〃）

黙想会

指導：星野正道師（カルメル会）

2000, 11月29日（水）10:00A.M. ~ 4:00P.M *対象：一般信徒一日黙想

大聖年・聖書に親しむ集い

講師：シスターマグダレナ *対象：信徒

テーマ：2000年に向けて 御父、御子、聖霊との交わり

一秘跡を通して一 毎月最終木曜日 2:00P.M. - 3:30P.M. *7.8.9.12月除いて

キリスト教講座（カトリックの教えを学びたい方）毎木曜日 10:00A.M. ~ 11:30A.M.

十字架の使徒職の集い

*対象：信徒

期 日：第一グループ 毎月第2金曜日(2:00P.M. ~ 3:30P.M.)

第二グループ 毎月第1木曜日(2:00P.M. ~ 3:30P.M.)

両グループ*司祭のために聖体礼拝を捧げます(1:30PM~200PM)

Ⅷ マリアの御心会（明泉会）

場 所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2 TLE.03-3351-0297

①聖書深読黙想会

黙想の係 - 今村和子

10/15. 11/19. 12/10. 1/2. 2/18. 3/18

(10:00 A.M ミサ~ 16:30P.M. お弁当持参 費用 1000円)

②詩編：毎月第一火曜日 10:00~12:00

③祈りの集い 18:00~20:00

10/21. 11/18. 12/16. 1/20. 2/17. 3/17

④来てみなさい

10/22. 11/26. 12/17. 1/28. 2/25. 3/25

(10:00 A.M ~ 16:30) ミサあり。

IX 聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

祈りの集い（問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで！）

- 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか？

（当日黙想の家の玄関に表示します。）

黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：165-0033東京都中野区若宮3-9-4

若宮共同体 TEL. 03-3337-3291

X. 『心のいほり。内観瞑想センター』『代表 藤原直達神父（大阪教区司祭）

〒553-0006 大阪市福島区吉野4-24-15 +福島教会内

*TEL/FAX 03-4804-5361

予定表 2000, 10/2 ~10/7 京都・精華町 10/16 ~10/21 横浜・茅ヶ崎
11/6 ~11/11 沖縄・与那原 11/13 ~11/18 横浜・茅ヶ崎
11/26 ~12/2 兵庫・ひばりが丘
12/11 ~12/16 横浜・茅ヶ崎 12/25 ~12/30 横浜・戸塚

*活動内容。定期的に各地で内観黙想の同行指導と講演。

内観の希望者は手紙かファックスで問い合わせ手ください。

I. コングレガシオン・ド・ノートルダム 〒182 東京都調布市下石原3-55

修道召命の黙想会 : 神の呼掛けに耳を傾けてみませんか。 ☎(0424-82-2012)

a. テーマ：修道召命を考える

指 導：小島知博神父様 …に変更になりました。（レジオ会）

日 時：9/30（土）16:00 ~ 10/1（日）16:00

対 象：20代~30代未婚の女性信徒

参加費：2,000円（宿泊費、食事、等）

持参品：聖書、筆記用具、洗面道具

申込み、問い合わせは9月25日（月） S r. 秋山・下記へ

b. テーマ：修道召命を考える

FAX(0424-82-2163)

日 時：11月24日（金）20時 ~ 11月26（日）16時まで

対 象：20代~30代の未婚の女性信徒

指導者：シスターシュラツ・シスター柴田

場 所：調布修道院（182-0034）東京都調布市下石原3-55）

京王線調布駅より徒歩15分

参加費：4000円（宿泊費・食事・等）

申込み：お問い合わせは11月22日まで下記へ

場 所：〒182-0034 東京都調布市下石原3-55

TEL(0424-82-2012)

コングレガシオン・ド・ノートルダム

FAX(0424-82-2163)

京王線調布駅南口より徒歩15分~20分 . タクシーで5分

「聖マルグリット・ブールジョワ婦天三百周年記念祭」

*日 時：11月23日（祭日）14：00から松尾貢師（サレジオ会司祭）
によるミサ、聖女の寸劇、祝賀パーティー

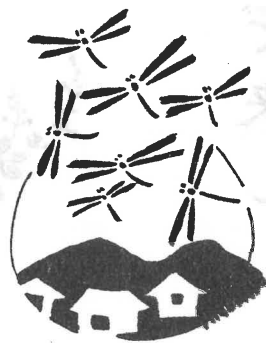
*場 所：コングレガシオン・ド・ノートルダム調布修道院（京王線調布駅
下車、鶴川街道、徒歩15分）

*対 象：どなたでも、どうぞ。

*参加費：無料

*電話申込み：11月15日まで（0424-82-2012）

皆様のおいでをお待ちしております。



信仰の光をたよりもろもろの

悩み惑ひを沸いてぞ来し

マリア安達留子遺稿集

萩の歌より



上野毛、宇治、大分

カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)

聖テレジア修道院 (黙想) は、カルメルの霊性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急大井町線 : 「上野毛駅」下車徒歩7分

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線 : 「六地藏駅」下車徒歩15分

京阪バス : 六地藏の町並バス停より御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX共 : 0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って明礮橋を右折

男子跣足カルメル修道会

お 願 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5
☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道